

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	重慶化や終末期のあり方について、理念、方針、目的を理解するための職員教育が不十分である	看取りが適切に行われる様に職員教育を計画的に行い、本人の立場に立つ意義のある看取りが行えるようになる。	施設の看取りの理念、終末期の身体的・精神的変化への対応、夜間、急変時への対応、報告、連絡の含め、チームワークの重要性、介護方法、技術、家族の援助方法等の研修、シミュレーションを計画的に実施する。	12 カ月
2	2 (2)	地域住民との交流が少なく、事業所のスペースを地域活動の場に活用できていない。	開放型に事業所を目指し、地域交流の機会を増やす。	高松市福祉協議会生活支援センターや地域包括支援センター、老人介護支援センターと協力し、地域課題に取り組むため、認知症対応型居宅介護の定期的開催と、山に可かアラスで実施し、地域交流が積極的に行われるようになる。	12 カ月
3	35 (13)	災害対策について、必要は対策を細かく検討できておらず、地域住民と災害について、話し合っていない。	災害対策について、職員一人ひとりが理解でき、また、地域住民とも話し合える場を作る。	災害対策について、研修を地域と交えて実施し、災害対策について、理解を深める。運営推進会議も活用し、地域住民の意識の醸成も行ってから、実施する。	12 カ月
4					カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)